

ケイフレックス附属品 Type KMKD, KMKM の施工は下記の要領を参考に行ってください。

1. ケイフレックスを必要な長さに切断します。

☆切断はバンドソー、メタルソー、高速切断機を使用します。

☆切断は管軸にできるだけ直角に行います。

☆高速切断機を使用の場合は急いで切断するとビニルジャケットが熱で溶けるのでゆっくり切断します。

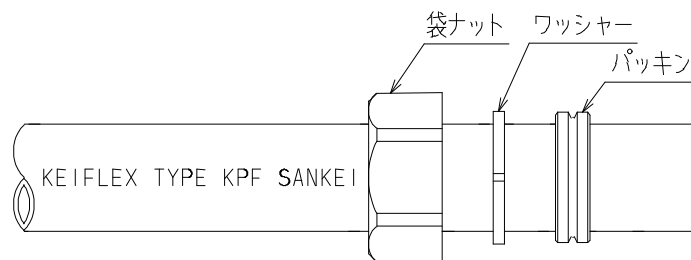
2. バリを取ります。

☆ケイフレックスを切断した時、バリが出てフェラルが入りにくい場合があるので、バリを万能ばさみで取除きます。

☆切断時に発生した埃をハケ又はウエスで清掃します。

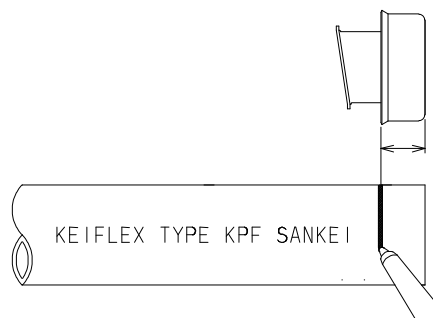
☆コアのバリを取る時、又は清掃する時コアのバリで指を傷つけないようご注意ください。

3. ケイフレックスに袋ナット、ワッシャー、パッキンを入れます。

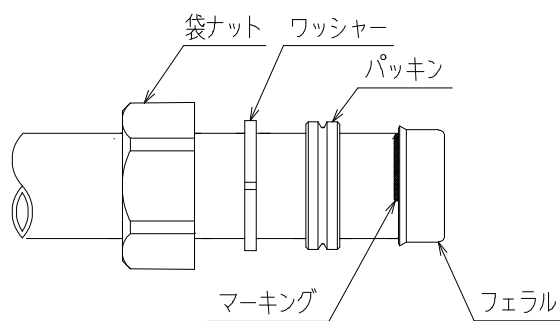


4. フェラルを取り付けます。

☆ケイフレックスにフェラルのねじ込み長さを予めマーキングします。



☆フェラルをマーキングの位置までねじ込みます。



5. ケーブルを通線します。

☆ケイフレックス及びカップリング本体にケーブルを通線し、ケーブルを MS コネクタに結線します。

6. 本体と MS コネクタを接続します。

☆結線後、組み立てた MS コネクタに、カップリング本体をねじ込みます。

☆KM90KD 等のアングルタイプと MS コネクタを接続する際には、カップリング本体のユニオンナットを回して MS コネクタにねじ込んで下さい。(下右図参照)

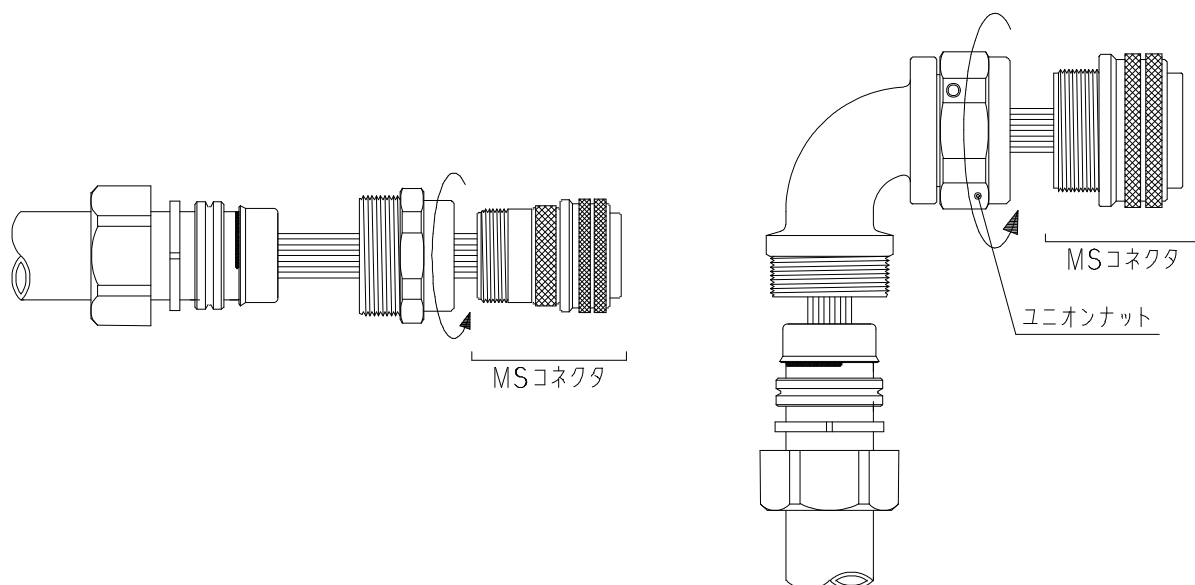
☆MS コネクタへの締付けは、MS コネクタ側を適合するレセプタクルに固定した状態で、モンキースパナを用いて締付けてください。(ストレート形、90° 形カップリング共通)

(締付け管理) 締付けトルク : $6\text{N}\cdot\text{m} \pm 1\text{N}\cdot\text{m}$ (又は、感触で MS コネクタが完全に突き当たったことが実感できるまで)

【注意事項】

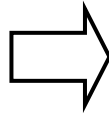
(1) MS コネクタの結線部にコーキングを行う場合は、MS コネクタのねじ先端の面にコーキング剤が付着しないように注意願います。フレキコネクタ内部の防水用 O リングとの密着性が損なわれ、接続部から漏水する恐れがあります。

(2) 可動状態では、フレキ長さを十分にとったり、カップリング手前部分のフレキをサドル等で固定する等 MS コネクタ接続部に負担がかからないよう対策する事をお勧めします。



7. 本体にケイフレックスを仮止めします。

☆あらかじめ、MS コネクタを接続した本体に 4 項でワッシャー、パッキン、フェラルを取付けたケイフレックスを挿入し、ワッシャー、パッキンをフェラルのフランジ部分までずらし、袋ナットを本体に手でねじ込み仮止めします。



8. 袋ナットを本締めします。

☆ケイフレックスを仮止めしたカップリング本体の六角部又は平取り部を「バイス」等で固定し、袋ナットを工具を用いて締め付けます。

☆締め付け工具はモーターレンチ(スーパー製、型番 MF-280 を推奨)で行ないます。

☆本体の六角部を「バイス」等で固定する時は軽く押さえれば十分です。

過度の押さえは変形を生じる場合がありますので注意願います。

☆袋ナットの締め付けは、袋ナットが本体のフランジ部にメタルタッチするまで締め付けを行ってください。

